

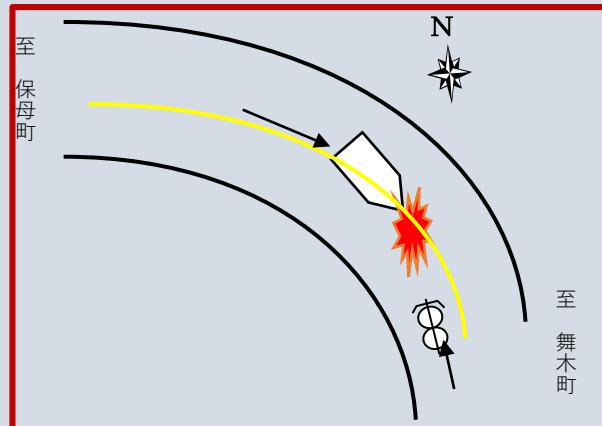


重大交通事故発生速報



愛知県岡崎警察署

- ◆ 発生日 令和8年2月6日（金）午後0時35分頃
- ◆ 発生場所 岡崎市池金町地内（市道）
- ◆ 当事者 準中型貨物車（70歳代）×第二種原動付自転車（60歳代）
- ◆ 事故概要 準中型貨物車が、右カーブを内回りした事により対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた原付と衝突したもの
- ◆ 現場の状況



交通事故防止のPOINT

1 カーブの危険性

カーブ走行では車に外側へ滑りだそうとする「遠心力」が働きます。
遠心力は、カーブの半径が小さいほど大きく、速度の二乗に比例して大きくなります。
見通しの悪いカーブでは対向車や歩行者などの発見が遅れがちになります。
死角にいる対向車や歩行者などが突然目の前に現れることも想定されます。
従って、十分にスピードを落さずカーブを曲がると重大事故を招きます。

2 カーブの安全な曲がり方

- センターラインを超えないように走行すること。
(センターラインがない場合「キープレフト」走行) が基本です。
- ① カーブ手前では十分にスピードを落とす。
カーブでは「スローアイン・ファストアウト」走行が基本です。
- ② 視線をカーブの先に置く
カーブの曲がる方向に視線が向き、その方向にハンドルを切って走行してしまうので、視線はカーブの先に置くこと。
(カーブの曲がる方向に視線が向き道路の内側へ寄りがちになる)
- ③ ハンドル操作を緩やかに行う
カーブを曲がるときに急ハンドル・急ブレーキを行うと横滑りする危険があります。
カーブに入る手前で十分にスピードを落としていれば、ハンドル操作を緩やかに行うことができます。